

B-17 塩素系おむつ洗剤による浸漬洗いについて

福岡女大家政 平松 園江
香蘭女短大 ○塚本 義子

1. おむつは常に細菌的に清潔であり、洗濯を繰返した後も、柔かく吸水よく白い事が望まれる。それでおむつ洗い洗剤が市販されてきた。市販おむつ洗剤を比較しより良いおむつの洗い方を検討する目的で、4種の塩素系おむつ洗剤と試薬 NaOCl を使い浸漬洗いをした時の洗液中の残留有効塩素量と試料布の白色度、風合等の変化を時間経過に従い検討する事とした。又これは引続き機械洗いと比較する研究の一部としても計画した。

2. 試料(g)/洗液(cc)を1/10, 1/30とし、液中に煮沸した未晒綿布を試料として入れ有効塩素消費量と白色度変化を経時的に5時間調べた。各時間毎、液を20cc取り有効塩素量を測定し、継続の浸漬洗いも浴比は常に前記の通りとなるようにした。有効塩素量はチオ硫酸ソーダ滴定量により算出、白色度は東京電色フォトボルト型光電光度計、風合は上野山製風合メーターによった。白色度、風合変化は未晒綿布と市販おむつ用綿布と両方につき検討した。

3. (1)各洗剤の有効塩素量は液A 6%, 液B 6%, 液C 5%, 粉S 2.5%, 粉M 2.5~5%。(2)1/10, 1/30共浸漬30分後の有効塩素消費量、白色度変化大。(3)各時間共1/30が1/10より効果があり、1/30は3時間、1/10は1時間で平衡に達する。(4)使用指示濃度では $\text{NaOCl} \rightleftharpoons$ 液A \rightleftharpoons 液B > 液C > 粉S。(5)有効塩素を等量とした場合は粉S > $\text{NaOCl} \rightleftharpoons$ 液A \rightleftharpoons 液C > 液Bで添加物の影響がみられる。(6)塩素系洗剤では柔軟加工、衛生加工布は黄変をきたす場合がある。